

つ 津みらい

いわわき けいいち
岩脇 圭一

録画映像



問 「大門・丸之内 未来のまちづくり」について問う

エリアの再生に向け、長期的なビジョンを描き、社会実験を通してエリアプラットフォームにおいて検討した仮説の検証に取り組んでおり、3年近い取り組みになってきている。そこで、現在に至るまでの取り組みの経過についてどのように捉え、また、今後の展開に向けた方向性について、どのように考えているか。

答 新たなまちづくりに向けて着実に進んでいると考えている

エリアプラットフォームの設立により、行政主導ではなく多くの方がまちづくりの担い手として参画されていることが大きな成果であると考えており、また、各実行チームやプロジェクトの取り組みを通して、参画者による自主イベントなどが開催され、新たなまちづくりに向けて着実に進んでいると考えている。

今後の展開に向けた方向性としては、エリアプラットフォームでは未来ビジョンに基づく取り組みなどを柔軟に実施しつつ、道路や公園の在り方を検討することとしており、津市もエリアプラットフォームの一員として取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 議案第105号 津市久居アルスプラザの指定管理者の指定について
- 市内各ホールにおける取り組みについて
- 児童虐待防止に向けた取り組みについて
- 自治体DXの推進を通じた業務改善の取り組みについて

▶ 令和6年度の社会実験「ふらっと大門・丸之内 @お城前公園」の様子



つ 津みらい

ふじた さだひこ
藤田 定彦

録画映像



問 ひとみね保育園をピカピカに !!

津市内の公立小中学校は、令和3年度以降だけでも12校の長寿命化改修工事を行ってきた。それに対し、公立保育所は、昭和40年代に建築が進められたものが多く、築40年以上が大半で、施設の劣化が著しく進行しているにもかかわらず、長寿命化のための改修を行っていないのはなぜか。

ひとみね保育園は特に改修の優先順位が高いと思うが、今後の対応は。

答 公立保育所全体の老朽化対策を検討する中で対応を見極めたい

公立保育所の施設老朽化に伴う保育環境改善の取り組みとして、大規模改修までは至らないものの、空調機器の更新やトイレの洋式化、照明のLED化などを進めてきた。第3期津市子ども・子育て支援事業計画（案）には、第2期計画を踏襲した公立保育所の施設老朽化対策について記載しており、今後の保育ニーズ等を勘案した上で、計画的な長寿命化のための改修等により、安定的で良質な保育環境の維持を図ることとしている。

ひとみね保育園の老朽化の状況は十分把握しており、今後、公立保育所全体の老朽化対策を検討する中で対応を見極めていきたい。

その他の質疑・質問

- 農林漁業の6次産業化について
 - 市の対応は
 - 水道事業について

▶ 農業の担い手の発掘を

